

# 感謝の思い手紙に

深谷・上柴中生177人

## 医療関係者につづる



生徒を代表して伊藤博院長（左）に感謝の手紙を手渡した小島彩加さん＝深谷市の深谷赤十字病院で

新型コロナウイルス  
感染者の治療に当  
たってきた医療従事  
者に感謝の思いを伝  
えようと、深谷赤十字

病院（深谷市上柴町西5）に隣接する深谷市立上柴中学校は2日、生徒たちが書いた感謝の手紙を病院に届けた。

2日は3年で生徒会

# 毎日新聞

R2.7.9(木)

長の小島彩加さん（14）らが病院を訪ね、伊藤博院長に「私たちからの感謝の気持ちが少しでも届いたらうれしいです。新型コロナウイルス感染症の終息する日が一日でも早く来るように、切に願っています」とあいさつし、手紙の束を手渡した。

伊藤院長は「本当に励まされた。地域医療を担う中核病院としての責任を改めて感じています」と答えた。

【中山信】

感謝の手紙を伊藤院長（左）に手渡す小島さん（2日、深谷赤十字病院で）



### 医療者につづる 感謝の気持ち

深谷・上柴中

深谷市立上柴中学校の生徒たちが新型コロナウイルス患者の治療にあたる医療従事者に謝意を伝える手紙をつづり、生徒会長の3年

・小島彩加さん（14）が2日、同校近くの深谷赤十字病院で伊藤博院長に手紙を

手渡した。

感染拡大で臨時休校の間、「感謝の気持ちを届けよう」と生徒たちに呼びかけたところ、187人が手紙を書いた。「皆さんに負担をかけないよう、マスクを着用しています」「これからも頑張ってください」などをつづっている。

伊藤院長は「感謝の声をもらって、励まされた。地域に密着した病院だと感じた」、小島さんは「感謝の気持ちが少しでも届いたらうれしい」と話していた。

# 読売新聞

R2.7.9(土)